

グループワークの前に

ポスト2020目標の検討状況 と 自然との共生

環境省生物多様性戦略推進室

生物多様性条約－COP10からCOP15へ

- 2020年を目標年とする愛知目標は、COP14（2018年）で決定された検討プロセスに従い、科学的な評価も踏まえて見直され、新たな目標がCOP15（2020年／中国）で決定される。

2010 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)を愛知県名古屋市で開催
➢ 愛知目標(戦略計画2011-2020)採択
➢ 名古屋議定書採択

2012 生物多様性国家戦略2012-2020を閣議決定

2013 IPBES第1回総会(ボン・ドイツ)

2014 COP12(韓国・ピョンチャン):
愛知目標の中間評価(GB04)

2018 COP14(エジプト・シャルムエルシェイク):
新たな目標(「ポスト2020目標」)の検討プロセスを採択

2019 IPBES第7回総会(フランス・パリ)
生物多様性と生態系サービスに関する地球規模アセスメント政策決定者向け要約の承認

ポスト2020目標の検討プロセス

- 公開ワーキンググループ (OEWG : ①2019/8+10比、②2020/2昆明、③2020/7カリ)
- 地域別ワークショップ (アジア太平洋地域ワークショップを1月に名古屋で開催)
- テーマ別ワークショップ
- パートナー組織による会合 (ランドスケープアプローチに関する専門家テーマ別ワークショップを9月に熊本で開催)
- 文書での意見募集 (日本からこれまで4回提出)
- 条約補助機関会合 (2019/11 : SBSTTA23、2020/5 : SBSTTA24・SBI3) 等

2020 愛知目標の最終評価(GB05)

COP15(中国・昆明):ポスト2020目標の採択及び関連する実施手段の検討

2021 次期生物多様性国家戦略の策定



国連生物多様性の10年

ポスト2020目標の構造 — 共同議長からの提案 —

実施のための手段
&
進めるための条件

能力開発

技術移転

資源動員

伝統的知識

手段
&
解決策



経済 及び
インセンティブ

法
規制
政策

行動様式の
変化

脅威を
縮小
させる



土地利用の変化

気候変動

汚染

過剰採取

外来種の侵入

人々の
要請に
応える



利用

利用を保障する

利益の配分

2030 Goals

種と
生態系の
保全



持続可能で
安全な利用



利益
配分



2050 Goals



健全で
強靱な
生態系
&
健全な
種



人類の要請に
合致する

責任&透明性

計画

報告

レビュー

自然共生社会とは —これまでの生物多様性国家戦略から—

1 生物多様性国家戦略2012-2020（2012年）

生物多様性の維持・回復と持続可能な利用を通じて、わが国の生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとするとともに、生態系サービスを将来にわたって享受できる

2 生物多様性条約戦略計画2010における2050年ビジョン（2010年）

2050年までに、生物多様性が評価され、保全され、回復され、そして賢明に利用され、そのことによって生態系サービスが保持され、健全な地球が維持され、全ての人々に不可欠な恩恵が与えられる

3 第三次生物多様性国家戦略（2007年）

豊かな生物多様性を将来にわたって継承し、その恵みを持続的に享受できる「自然共生社会」を構築するための3つの目標

①地域に固有の動植物や生態系を地域の特性に応じて保全するとともに、生態系ネットワークの形成を通じて国土レベルの生物多様性を維持・回復することとりわけわが国に生息・生育する種に絶滅のおそれがないようにすると同時に、現に絶滅の危機に瀕した種の個体数や生息・生育環境の維持・回復を図ること

②生物多様性を減少させない方法により、世代を超えて、国土や自然資源の持続可能な利用を行うこと（特定の希少種や原生自然の保護だけでなく、人の生活・生産活動との関わりの中で生物多様性を保全する持続可能な利用を進めることが重要）

③生物多様性の保全と持続可能な利用を、地球規模から身近な市民生活のレベルまでのさまざまな社会経済活動の中に組み込んでいくこと

2050 Goals (Proposal!)

- *Species*

- preventing extinctions,
- increasing the number of species and/or on the desired status
- improving the status of species or maintaining it for all species.
- genetic diversity.
- Indicators: Red List of Threatened Species of the IUCN... Living Planet Index

絶滅させない

- *Ecosystems*

- changing land use, fragmentation, degradation,
- desired status
- Indicators: multiple indicators or a composite index

生態系の損失の改善

- *Benefits*

- ensure that the benefits of biodiversity are shared equitably and sustainably across all people and nations
- Indicators: multiple indicators or a composite index

生物多様性の恩恵を次世代へ

2050 Goals



Healthy
Resilient
Ecosystems &
Healthy
Species



Human
Needs Are
Met

午前中のふりかえり

社会変革 (transformative change) のイメージ

とりわけレバレッジ・ポイントに適用されるスマートな政策の組み合わせを含む、統合的、適応的、且つ、情報を基にした、包括的ガバナンスアプローチ



地球規模の持続可能性のための「全社会の変革」を表す図 (Figure 9より)